

埼玉県老人クラブ連合会機関誌

平成30年
11月21日 NO. 116

彩愛クラブ埼玉

SAIAI CLUB SAITAMA



彩の国

平成三十年度 第三回理事会

平成三十年九月七日（金）、彩の国すこやかプラザにおいて第三回理事会を開催しました。

出席者は理事十九名、監事一名で概要は次のとおりです。

議事録署名人

・会長 新藤享弘

・監事 山路孝

◆第一号議案「平成三十年度県老連会長表彰被表彰者等の選考について」

以前に受賞したことがある者を除いて、候補者・団体全てを表彰することに決定しました。

◆第二号議案「平成三十年度埼玉県老人クラブ大会・指導者研修会について」

原案のとおり承認されました。

◆第三号議案「平成三十年度シルバースポーツ大会の役割分担について」

左記のとおり決定しました。

ゲートボール担当 内田 親

グラウンド・ゴルフ担当 坂本 好司

ペタンク担当 宮崎三津子

ソフトテニス担当 谷合 傳治

ワナゲ担当 多比羅幸男

マグダーツ担当 浅見タカ子

司会 玉水きみ子

開会宣言 成田準之助

◆第四号議案「平成三十年度埼玉県老人クラブ健康づくり大学「県老連役員との懇談交流会」の参加者について」

左記の五名が参加することに決定しました。

新藤享弘、内田親、坂本好司、

内田まさ子、宮崎三津子

◆第五号議案「平成三十一年版皇室カレンダールの斡旋について」

本多観光を通して一本千円（税込）で斡旋することで承認されました。

◆第六号議案「第四十八回全国老人クラブ大会の内容について」

原案のとおり承認されました。

市町村老人クラブ連合会会長研修会

七月十一日 すこやかプラザに県内の市町村連合会会長が集まり研修会が開催されました。県老連新藤会長の挨拶の中で、健康・友愛・奉仕を柱に活動の取組みの大切さ。新地域支援事業への取組み、来年度十一月の全国大会の盛り上げ等に触れられました。各連合会長、事務局、県老連市町村事務局の自己紹介のあと、「三万人会員増強運動」について、落合事務局長から、傾向としては単位クラブ数、会員数とも減少している。しかし増加させている地区もあり、新座市の取組みについて紹介します。

新座市では、老人クラブの行事と市の行事の統合をはかり誰でもが参加しやすい環境を整えていった。平成



十八年ころは老人クラブ行事で年四百名程度の参加人数が、行事統合で一六〇〇名を超えるようになった。ちょうど新地域支援事業が市町村での取り組み時期で、市と老人クラブが歩調を取るに良いタイミングとなりました。「健康長寿のまち・にいで推進事業」平成二十七年から市の事業として実施。老人会としては計画・実施・評価に加わり事業に参加だけのお客様ではありません。具体的な活動事例を聞いたあとの意見交換・情報交換の場でも、活発に声がありました。

新地域支援事業に取り組むために自治体・社協・老人クラブなどの協働について多くの声がだされ、県老連事務局からは、「相談してくれば、出向いて自治体との橋渡しの支援をしたい」と、安心できる言葉をもらいました。参加者の、真剣な姿勢が、今後の活動に表れることが感じられる研修会でした。

さいたま市 渡辺 充

平成30年 健康づくり大学入学生

No	氏名	市町村名	学籍番号	グループ番号
1	本間 きよ子	川口市	H3001	①
2	多胡 てる子	川口市	H3002	②
3	小川 陽子	川口市	H3003	③
4	渡辺 三枝	川口市	H3004	④
5	渡辺 ヨシ子	川口市	H3005	①
6	川上 良子	川口市	H3006	②
7	水野 百合子	川口市	H3007	③
8	山條 貞子	川口市	H3008	④
9	平石 裕明	川口市	H3009	①
10	石川 治重	川口市	H3010	②
11	軽部 惣晴	川口市	H3011	③
12	飯野 信子	さいたま市見沼区	H3012	④
13	内田 洋子	さいたま市浦和区	H3013	①
14	谷島 洋	さいたま市大宮区	H3014	②
15	都丸 多か	さいたま市中央区	H3015	③
16	金子 宣江	さいたま市中央区	H3016	④
17	長嶋 久子	さいたま市中央区	H3017	①
18	大川 静子	上尾市	H3018	②
19	初鹿 絹子	越谷市	H3019	③
20	松本 邦雄	北本市	H3020	④
21	長谷川 新一	北本市	H3021	①
22	大津 雅光	三郷市	H3022	②
23	深谷 徳五郎	蓮田市	H3023	③
24	矢田部 幸子	吉川市	H3024	④
25	染谷 文子	吉川市	H3025	①
26	山岸 てる	白岡市	H3026	②
27	宮内 富子	白岡市	H3027	③
28	矢島 信子	白岡市	H3028	④
29	中根 美枝子	白岡市	H3029	①

平成三十年 度

健康づくり大学入学式(第16期)

平成三十年七月十八日(水)「彩の国すこやかプラザ」にて、入学者二十九名を迎え入学式が行われました。

●開会式 県老連内田まさ子副会長の開会宣言で入学式が始まりました。県老連新藤享弘会長の挨拶では、「明るく」「楽しく」「元氣良く」勉強し、社会に役立つようにと激励の言葉が贈られました。全老連斎藤十朗会長と埼玉県福祉

部知久清志部長の祝電が披露されました。

入学生を代表して谷島洋氏(さいたま市大宮区)の誓いのことばと続き、県老連成田準之助理事の閉会のことばのあと、全員で記念撮影し入学式は終了しました。

●オリエンテーション 今後の授業日程、カリキュラムについて説明のあと、グループ編成や、班長、学生代表などを選出

しました。熱意に満ちた仲間が集まっているためか、すんなりと決まりました。

●健康よもやま話 講義の一番初めは、高橋義一氏(県老連前会長)による食べ物・運動など実践経験に基づく講義が行われました。食べ物十倍歌、食べ物食べ方など、わかりやすく歌詞を作りみんなで大きな声で歌いました。

●新藤学長の挨拶(要旨) 健康が最も大切です。健康は若さを維持できます。身だしなみも大切にこの大学で出会った仲間を大切にしてください。同期として盛り上げ



平成30年度 入学式に勢ぞろい 2018. 7. 18

●入学生代表谷島洋氏の誓いのことば(要旨) 今回、学ぶ機会があり幸運です。十二月に無事卒業できるように講義や実技など積極的に取り組んで、有意義だったと言えるように頑張ります。



さいたま市 渡辺 充

平成30年度

新任単位クラブ会長研修会開かれる

9月5日 すこやかプラザで開催された。参加者は、新任会長130名、健康づくり大学生29人が参加。県老連内田まさ子副会長の開会宣言のあと、県老連新藤享弘会長の挨拶では、新しい老人クラブの会長となられた方々が集いました。人のお世話になるよりも、人のお世話をするように、友愛活動を浸透させ新しい考え方で活動をすすめてくださいと励ましの言葉がありました。

【講演Ⅰ】

全国老人クラブ連合会事務局長 谷野香氏から「老人クラブの歴史、現状、今後の課題」の講演をいただきました。日本には平安時代から老人の知恵を活かしていく伝統があり、戦後、民主化のなかで、

連野氏
全老連
谷野氏

高齢者の疎外感・孤独感を仲間が集まって生きがいとめる活動として発展し

てきました。県内の老人クラブ発祥の地は埼玉県小鹿野町との話に、会場がざわめきました。

リーダーとなった方々へのアドバイスとして、自分が役を引き受けた時の不安を、次期リーダーが同じ思いをしないように

①記録を残すことを意識する。

②会計の透明性。

③会員の安全対策。

わかりやすい言葉をいただきました。会員の安全対策として老人クラブ保険の説明がありました。活動が多様化する中で、賠償責任が生じる事態をカバーすることが可能な保障もできる。活動補助金使用で対応できます。

高年齢化問題と言われているが行政に頼るだけではなく自分たちが出来ることは自分たちで実行する。これが老人クラブです。新地域事業支援で老人クラブの活動の基本は次の四つです。

- ①「生きがいづくり」
- ②「健康づくり」
- ③「仲間づくり」
- ④「地域づくり」

全部やらなくてもいいのです。この四つの目標を意識しましょう。老人クラブって何をやっているの？と聞かれた時に、この四つの言葉で自分のクラブの活動をあてはめれば説明できます。

【講演Ⅱ】

県老連落合一弘常務理事からは埼玉県の老人クラブの会員数の状況推移の紹介がありました。県内には約三〇〇〇の老人クラブがある。一人増で三〇〇〇人増。クラブを解散すると一気に50人減。役員後継者が居ないために単位クラブの消滅をなくしましょう。困った時に相談できるのは老人クラブの仲間しかいません。会員の六割は女性です。女性もドンドン役員として活躍できることも大切です。

- ・仲間からお誘い
- ・サークル活動でお誘い

【講演Ⅲ】

県老連事務局椎名久美子主査から、「新地域支援事業」について解りやすい説明がありました。埼玉県は他の都道府県よりは先進的取組が行われていると評価されている。今日ここに集まった単位クラブにおかれても、自信を持って取り組みを進めて欲しい。今までのクラブでの活動がまさに新地域

支援事業です。



- ①多様な生活支援
- ②多様な通いの場づくり
- ③見守り支援
- ④健康づくり
- ⑤情報伝達支援

自治体ごとの取組みになります。協議体として地域包括センター・社会福祉協会・老人クラブ等が参画し、地域の実態に合致した内容で実施する事が大切です。県老連として連絡をいただければ出向いていきます。

閉会のことばとして、県老連玉水きみ子理事からの閉会宣言で幕をとじました。

さいたま市 渡辺 充

平成三十年度

シルバースポーツ大会

十月三十日、快晴にめぐまれて

盛大に開催されました。開会式には、埼玉県議会齋藤雅明議長、熊谷富岡清市長から出場選手に向けて激励の言葉を戴きました。県老連新藤享弘会長は、来年の十一月には、ここ埼玉県で、老人クラブの全国大会が開かれます。大宮ソニックシティを皆さんで満席に出来る様お願いします。春日部健康体操クラブの指導により参加者全員で準備体操を行い、各競技のスタートです。

①ペタンク 参加チーム32

派手な動きはありませんが、真剣な眼差しと、日頃の練習の成果を発揮していました。最後の一球で逆転した時の歓喜の声と、相手を称賛する真摯な態度は、清々しいものです。

②ゲートボール 参加チーム40

巨大なドーム内に、心地良いコインと打音が響きます。「3番、第二ゲート通過」と審判のはっきりとした声で、プレイヤーは、にっこり。リーダーの指示の声に真剣な眼差しで競技に集中していま

た。

③ソフトテニス 参加ペア21

原則ミックスダブルス。ラリーが20回以上続く。ネットに近づきボレーを相手に決めた時にはニンマリ。見事なフットワークで拾いまくる姿。これがシニア?とても楽しく真剣な試合は見応えがありました。

④ワナゲ 参加チーム66

ワナゲ12台が一直線に並ぶ会場。9本の輪を投げ競う。試合開始の合図と同時に、空中に輪がポール目指して宙を舞う。連続6本の輪

が入り、パーフェクトの可能性も出てきた。仲間の声援が響く。7本目×。8本目が4点ポール。ピンゴ4列の願いで9本目は×。高得点にも関わらずしよげる選手。レベルが高い。一試合で2回もパーフェクトが出ました。点数は

気になるが、笑顔一杯の試合が繰り広げられました。

⑤マブダーツ 参加チーム22

矢の先端に針の代わりにマグネットが付いた矢6本を的を目標けて投げます。ポーンゾーンをうまく使い点数を重ねる。上位チームになると6本の矢を投げて200点を超す人もいる。20点の隣が1点などいじわるな配置にもめげず得点を重ねます。投げる時の目の輝きと立ち姿に美を感じました。

⑥グラウンド・ゴルフ 参加チーム118

最大の参加人数です。陸上競技場のフィールドに32ホールを設定し競技が行われました。手入れの行き届いた天然芝。ころがりがい

つもと違うようですが、参加者は同一条件。ロングホールがこんなにも長いとは、と言いながら、早くもホールインワンがあちこちで出ていました。地域混成のチームも競技しながら会話が弾んでいました。

(競技の結果は、別表参照)

これだけの大規模な大会を陰で支えていただきました、地元の仲間感謝します。来年の大会は、ラグビーワールドカップが開催されるため、6月に実施します。ここ熊谷で、また楽しく競い合いましょう。

さいたま市 渡辺 充

彩の国プラチナフェスティバル
平成30年度シルバースポーツ大会結果

●ゲートボールの部

優勝 山崎 GB 愛好会 (さいたま市)
準優勝 渡戸喜楽会 (富士見市)
第三位 吉一寿会 (さいたま市)

●グラウンド・ゴルフの部

団体戦
優勝 福寿会 (入間市)
準優勝 伊奈町長寿クラブ連合会 C (伊奈町)
準優勝 江南 A (熊谷市江南)
第三位 鶴ヶ島 C (鶴ヶ島市)

個人戦

優勝 黒澤 達男 (長瀨町)
準優勝 橋本 安行 (熊谷市江南)
第三位 八木 昇 (寄居町)

●ペタンクの部

優勝 白菊会 (越生町)
準優勝 坂戸 D (連盟)
第三位 上野東交流会 (越生町)
第三位 坂戸 A (連盟)

●ソフトテニスの部

優勝 西井 隆・松本 幸子 (深谷市)
準優勝 佐藤 光郎・原山 信子 (熊谷市)
第三位 阿部 昭・正司 充子 (加須市)
第三位 小玉 勲・西村 悦子 (加須市)

●ワナゲの部

優勝 上押切チーム (熊谷市江南)
準優勝 狭山市堀中寿会 (狭山市)
第三位 本庄 A (本庄市)

●マブダーツの部

優勝 上福岡一丁目寿会 B (ふじみ野市)
準優勝 狭山市東急台 (狭山市)
第三位 深谷市 D チーム (深谷市)

平成30年度 埼玉県老人クラブ連合会 社交ダンス大会

平成30年10月19日(金)に埼玉県老連主催の「社交ダンス大会」が富士見市民文化会館「キラリふじみ」で開催された。会場には、吉川市連合長寿会浅見会長以下ダンス愛好者34名、和光市いきいきクラブより10名、地元富士見市社交ダンスサークルローズより6名、富士見市のダンス応援団(愛好者)約30名、さいたま市より4名が参加。他に多数の富士見市老連の役員が運営を担っていました。

●開会式

司会は、富士見市老連山本百合子女性委員長が務め、主催者と歓迎の挨拶を、富士見市老連谷合傳治会長が述べた。つぎに、富士見市長星野光弘氏と富士見市山口武士教育委員長、県会議員金子勝氏の来賓の挨拶。つづいて役員の紹介では、審査員「全日本ダンス協会認定ダンス教師・古賀敏子先生」と県老連落合事務局長の紹介で開会式は終了しました。

●ダンスタイム

これから始まる本番の前に、参加者全員がパートナーと組んで約30分間、体を解す為踊りました。



●フォーメーション

四チームが順番通り入場。日頃の練習の成果を見せる踊りを披露。ドレスアップした女性とベストを着た粋な男性が、お互いに笑顔で見つめ合いダンスのリズムに乗

り、優雅に踊りました。会場は、いつもと違う緊張の雰囲気で見守る応援者も踊りの魅力につかまり、益々会場は盛り上がりつつありました。



●表彰式

審査員古賀敏子先生の講評と採点の結果は、左記の通りです。

●講評

①吉川市(ダンスサークル) 踊りがワルツのテンポに良く合っていた。

②吉川市(ダンス教室) 振り付けが揃っていた。

③和光市 ルンバで、男性らしさ、女性らしさの表現が良かった。

④富士見市 男性の力強さと女性の魅力的な踊りの表現がマッチしてとても素晴らしかった。

●閉会式

富士見市老連堀井正男副会長の挨拶で終了しました。

川越市 小林 松十郎

賞	チーム名
埼玉県老連会長賞	吉川市連合長寿会社交ダンスサークル 12名
富士見市老連会長賞	吉川市連合長寿会文化部社交ダンス教室 22名
審査員特別賞	和光市いきいきクラブ連合会 10名
グッドルーティン賞	富士見市社交ダンスサークルローズ 6名

第36回都道府県・指定都市 老人クラブリーダー中央セミナーに参加して

「新規クラブを立ち上げよう!」、

「解散クラブを防ごう!」をテーマに8月7日(火)・8日(水)

新霞が関ビルの第5会議室で都道府県・指定都市における中心的リーダー約70名の参加のもとセミナーが開催されました。

全老連松寿副会長のあいさつに始まり、厚生労働省老健局から行政報告、谷野事務局長の基調報告、三代表による事例発表がありました。

平成26年度から五カ年計画で取り組んできた「百万人会員増強運動」が最終年度を迎え、それぞれの地域において独自の計画を掲げ、さまざまな活動が展開された内容を情報交換を交えて研



クラブリーダー中央セミナー

究、協議しました。

二日目は、分散会・グループ協議が13グループに別れ、自己紹介の後、役割分担を決め、各自の取り組みについて話し合われました。私達のグループは一ヶ月前に会長になられた方、脳トレの為に役を引き受けたと話される方でした。

話題は、新規クラブの立ち上げ、解散クラブの防止、後継者がいない等。いずれにしても何かに役立ちたいと考える前向きなリーダー達です。歳を重ね、動きが鈍くなる私達ですが、会員同士手を携えて行きたいものです。

この日は台風の影響で、分散会の後まともがあり、日本大学教授諏訪徹先生の講演「仲間づくり、老人クラブへの期待」とても実のあるお話しでした。

大変残念なことでしたが十二時で散会となり、皆さん雨の中を家路と急ぎました。

さいたま市 宮崎三津子

第30回 全国女性リーダーセミナー

平成30年度全国女性リーダーセミナーが10月11日(木)12日(金)、

新霞が関ビルに於いて開催された。全国から99人が参加、埼玉県からは内田女性委員長、玉水女性副委員長が参加致しました。

川端幸枝全国女性副会長の開会の挨拶から始まりました。

基調報告を全国老人クラブ連合会谷野事務局長が(老人クラブ組織の発展に向けて、示そう!女性パワー)

①高齢者の状況②老人クラブにおける女性の状況③老人クラブの全国運動 行動提案④女性リーダーへの期待④よりよい単位クラブ活動のために、と様々なデータを分析、紹介今後女性リーダーの役割は大きいと話された。

次に事例発表がありました。①女性委員会が主管した「認知症サポーター養成講座」を横浜市神奈川区三宅女性委員長②「全員参加を目指す女性部研修」茨城県神栖市柳川絨子女性部長③女性単位クラブ会長を増やす区連の取り組みを神戸市兵庫区頼廣安子会長④老

人クラブが

取り組む「電

話で詐欺撲

滅アドバイ

ザー」を千葉

県石井淑枝

常任委員長、

四人の各地

域で取り組

んでいる事

例発表がありました。



翌日は「ワークショップ」オリエンテーション、グループごとに自己紹介、その後公益財団法人横浜市男女共同参画センター常光明子館長から、女性の視点をいかした自助共助、高齢者の仲間づくりを通して考える防災、母性の立場からの防災の備えを見直そうとアドバイスいただきました。

終りに全老連齋藤常務理事はこれからの老人クラブの活動は女性リーダー主導で、会員増強に新地域支援事業にと健康寿命を担いながら地域作りに取り組んで下さいと激励された。

春日部市 玉水きみ子

総力を結集して市町村老連が

新地域支援事業へ参画しましょう

116号
特集

友愛活動

～見守り

について 4

支援～



「見守り支援」は、友愛活動で最も取り組みやすい事項です。

近所・隣同士・友人など身近にいる人に対し、「元気になっているうー」、集いへのお誘いなど日常的に行っていることなのです。

1 声かけ 顔を合わせたときの挨拶です。

「暑いねーっ」「風邪治った？」この様な日常的な事が友愛活動の基本です。

2 友愛訪問

一人暮らしの方、昼間は一人、ちょっと寝込んだ方などどうしているかなと、様子伺いです。困ったことはお互い様基本です。雑談や昔話の中で、支援が必要かどうかの判断も重要。支援が必要なら自治会や民生児童委員や地域包括支援センターに相談しましょう。

3 お誘い

「お誘い」を受けると、とても嬉しいものです。老人クラブ・自治会の行事や、映画、飲み会と色々あります。お誘いは電話でも訪問でも可能です。

4 安否確認

元気になっているうー！定期的に声を掛け合える仲間が居れば安心ですね。訪問まではしないけど、電話等での対応で構いません。

5 話し相手

気軽に訪ねてのお話し。楽しい思い出を語り合うと、心も体もさわやかになります。

このような事は、今までの老人クラブの活動の中で、当たり前に行っています。

友愛活動は、家に閉じこもりがちな人達を少なくできます。今回の西日本豪雨でも近所の繋がりで無事避難できた事例が数多く紹介されています。いざと言う時に、支援に繋げることが大切です。

越谷市沼田シルバークラブの実践例を紹介いたします。友愛活動を組織活性化に見事に活かしています。

越谷市沼田シルバークラブの友愛活動

沼田シルバークラブは、平成13年に結成、役員は北山隆司会長(79歳)、副会長2名、監事6名、会計1名、監査1名、会員数は50名である。

平成22年4月、県老連の友愛実践活動モデル指定を受けた越谷市老人クラブ連合会は、単位クラブに友愛活動の事業内容を説明し、その協力を得て、平成23年4月から友愛活動を開始した。当クラブの友愛活動は、この時から始まった。

1. 沼田シルバークラブの友愛組織

(1) 友愛チームの構成

山内恵美子リーダーの他、女性メンバー4名、北山会長

(2) 支援している人数

13名(男性2名、女性11名)

(3) 居住状況

一人暮らし5名、高齢世帯6名、子供世代と同居2名

(4) 友愛会議

友愛チームは、3か月毎に友愛会議を開催し、支援を行っている人達の健康状態とふれあいサロン参加者の情報交換を行っている。会議記録は必ずとり、チーム全員が情報を共有している。

2. 友愛活動は二本立て

当クラブの活動は、「通いの場型(ふれあいサロン)」と「生活支援型(見守り・連絡)」との二本立てで運営している。二つの活動は、相互に補完し合い、相乗効果を挙げている。見守り支援を行っている人達がふれあいサロンにも参加し、安否確認が容易に出来るからである。

山内チームリーダーは、9年前から「ふれあいサロン沼田」を主催し、毎月第三水曜日10時から2時間、自治会館でサロンを開催している。平成29年7月に創設100回を迎えた。

参加者の総数は20名程度で、体調の良い人達が毎回、十数名参加している。会費は一人100円、自治会から支援を受けている。

《ふれあいサロン》

毎月一回開催するサロンでは、参加者が飽きないよう、季節に合った行事(花見会・クリスマス会等)、文教大学生の手品、交友団体の三味線演奏や紙芝居、越谷市落語研究会による落語等を行っている。

また、季節に合った行事の他に毎回、お茶・お菓子を頂きながら、次の催しを実施している。

①会員相互の話し合い、②カルタ遊び、③お手玉遊び、④簡単な体操、⑤趣味の手芸、⑥食事会

この他、自治会支援による食事会やそば打ち教室も行っている。

これらふれあいサロンを介して、高齢会員が月一回会うのを楽しみにしており、お茶飲みや会話、簡単な体操、ゲーム等により孤独感を緩和できることを期待している。また、会員の精神状態や健康状態が確認でき、友愛活動が進めやすくなっている。

①見守り・訪問活動

一番問題視したのは一人暮らし高齢者の孤独死である。次の事項を注意し、見守り活動、安否確認を行っている。

- 数日間、雨戸が閉まっている。
 - 郵便物や新聞紙が郵便ポストから溢れている。
- また、それら支援者には、定期的に訪問し、健康状態、安否確認を行っている。

②話し相手

高齢者の多くは孤独感を抱えているので、定期的に訪問して話し相手になっている。訪問する時は、一人だけの訪問を避け、必ず二名で対応することになっている。

3. 平成29年の活動結果

沼田シルバークラブの友愛チームが、一人暮らしの高齢者等13名に行った見守り、話し相手等の友愛活動は1,580件、その内訳は右の通りである。

見守り、連絡	212件
話し相手	174件
サロン・茶話会等	597件
体操・趣味	597件
(合計)	1,580件

平成三十年度

県老連女性リーダー―泊交流研修会

平成三十年八月三十日(木) 三十一日(金)の日程で群馬県伊香保「喜びの宿 高松」に、四十名の県内の女性リーダーが参加して開催されました。

●開会式(午後二時二十分より)

司会は県老連事務局椎名主査が担当。県老連玉水きみ子女性副委員長の開会の言葉。次に主催者を代表して、県老連内田まさ子女性委員長の挨拶、続いて、群馬県老連木村常昭事務局長の挨拶で開会



式は終了。その後、群馬県老連川端幸枝副理事長より「新地域支援事業」と「グループ討議について」の説明がありました。

●講演

講師

群馬県老連川端幸枝副理事長 ※当日はご欠席のため代理で木村常務にご講演をお願いした。

「見守りサポーター活動について」 群馬県の「新地域支援事業の取り組み方」についての説明。

①「多様な生活支援」

行政等からの呼びかけに参加
・協力。(一般介護予防事業)

◇高崎市Ⅱ市の「地域支え合いサポーターにボランティア登録」

②「多様な集いの場」

健康学習の場づくり等を実施
◇館林市Ⅱ「運動の輪づくり研修会」や「地域での見守り体制づくり」で、介護予防運動の普及を行っている。

③高齢消費者「見守りサポーター等養成講座」を平成二十六年

三十年の間に十回開催した。受講者は延べ九八八名でした。

④「消費者被害防止活動」として、県制作の「NO!詐欺音頭」を活用、地域のイベントで啓発活動を行っている。

●グループ討議と発表

①参加者が六班に分かれて、「新地域支援事業の参画に向けて」情報交換を行った。

②班ごとに、進行リーダー、記録担当者、発表担当者を決定。

◆一班

①「親睦交流活動」で、仲間を集めて唄を歌い「認知症予防」をしている。

②「生き生きサロン」で買い物、ゴミだし等を応援。

◆二班

①「健康体操」で新地域支援事業に参画を目指している。

②「見守り活動」で詐欺が一件も無く警察に表彰された地域があった。

◆三班

友愛活動で、新地域支援事業に参画できる仕組みを討議した。

◆四班

「生き生き体操」と「歩こう会」

等やっている処が多くあり、新地域支援事業に参画を準備中。

◆五班

①「青空サロン」で、

脳トレやリズム体操を実施。

②「楽しい会話」で会員の拡大を目指している。

◆六班

①高齢者が多くなり体を動かすより、頭を使うゲームに変更。
②「健康づくりと生きがいづくりの充実」を目指します。

●総評

群馬県老連木村常昭事務局長と県老連落合一弘事務局長より総評がありました。

●閉会式

県老連石川みよ子女性副委員長より閉会の言葉が有り終了した。

◎二日目

次の朝は、会議は行われず、伊香保温泉の湯畑を見学。硫黄の香りをする古き良き時代の面影が残る旅館街を散策しました。

三郷市 石渡 弘子





平成30年7月17日(火) 13時30分、於川口総合文化センターリリアで、川口女性部主催の「社交ダンスパーティー」が開催されました。来賓として、奥ノ木川口市長、川口市立西中学校瀬山校長の挨拶があり、主催者である川口市老連高橋会長、内田まさ子女性部長は、すばらしい挨拶に感謝をしております。

2018 キューボラ川口女性部主催 「社交ダンスパーティー」

「笑顔いっぱい」西中学校ダンス部との共演

川口市老人クラブ連合会は、6割以上が女性会員で占めているため、16年前に「女性会員の活動の拡充を図ること」や「女性ならではの目線で行える事業を充実させること」などの実現をめざして、女性部会を創立しました。女性部で楽しい活動をする事で、このダンス大会を実施してきました。昨年から、川口市立西中学校ダンス部の生徒さんをお招きして、デモンストレーションをさせていただきました。その後、参加者のみなさんと一緒にダンスを踊りました。西中学校ダンス部は、県内・都内ジュニアダンス大会で入賞多数している優秀なメンバーです。フレッシュで笑顔いっぱいのダンスは、本場にすばらしく、感動いたしました。内田まさ子女性部長は、今後も地域の人たちとの出会いや人と人との絆を大切にしながら、元気と笑顔と思いやりの心を忘れず、活動を続けたいと語っておられました。



事務局 落合 一弘

ちょっと寄ってみませんか!!

シリーズ①

かすかべ湯元温泉



今年は4月から異常気象の高温が続く、季節外れのこの暑さに疲労困ぱいしている。こんな時は温泉にでもつかり、ビールでも飲んでのんびり過ごしたい。そんな思いで、私は気のおけない友を誘い、「かすかべ湯元温泉」に向かった。当日の気温は30度超。

東武伊勢崎線千間台駅西口から送迎バス(30分毎)で温泉へ。湯元温泉は、「~ゆったり 湯・遊 温泉三昧~」が売り。天然温泉で、泉質は「良質のアルカリ性」。風呂は、「ぬるい湯、

あつい湯、ジャグジー、サウナ、露天風呂」に「プール」と多種多様。

湯上りは、大広間でゆったり休憩。食事は和洋中華、飲物はビール、日本酒、焼酎もある。カラオケの設備もあり、至れり尽くせり。

二人は、十分に温泉を楽しんだ後、大広間へ。美味しい料理を食べ、ビールを飲み、カラオケで十八番を一曲、ゆったり一日、近場で命の洗濯でした。

越谷市 北山 隆司

川越市老連高階支部

駅周辺の 美化活動を実施

平成30年9月29日(土) 午前8時30分より約一時間「東武東上線新河岸駅」東口ロータリー・花壇・駅前道路脇の雑草の除去作業が小雨の降る下で行われました。この美化活動は、駅の東口が、平成29年12月に開設されてから、年3回(春先、5月、9月)、高階支部が主催して行われているものです。本日は高階支部(十文字義男支部長、78歳・単位クラブ数 18・会員数904名)傘下の駅周辺の第三分会(山本副支部長)の会



員や地元自治会役員等約50余人が手袋、かま、草刈り機、ゴミ袋を持参して頑張っていました。

老人クラブが地域でこのような「奉仕活動」に専念する姿に触れて、感動すると共に、作業現場には「シニア高階支部」ここに有りと「のぼり旗」がはためき、通路にも、「川越市老人クラブ高階支部」の大きな「横断幕」が張り出されておりました。これを見て、十文字支部長の老人クラブ活動を世間の人々にアピールする努力とこの作業に大勢の人々を動員する統率力に感心致しました。

川越市 小林 松十郎

春日部市いきいき クラブ連合会

スポーツ大会

私達老人クラブの目標の一つである健康づくりの象徴ともいえる「スポーツ大会」が、10月10日ウィングハット春日部で開催されました。開会式で成田当連合会長から「今日は、健康で生きがいのある生活が続けられるようにするための健康づくりだと思って、楽しみながら頑張りましょう」との挨拶がありました。また、石川春日部市長、新藤県老連会長ほか多数の来賓が列席され、激励のお言葉をいただきました。会場にはクラブ独自の統一したユニホーム姿が多数見受けられ、それぞれのクラブの大会における意気込みを感じました。競技は、地区対抗戦6競技と一般参加競技8ゲームが行われました。出場選手は真剣そのものですが、中には思い通りに競技が進められず、一人取り残される選手もいます。そんな選手には会場から温かい声援が飛び交っていました。

ほぼ定刻通り午前の競技が終わり昼食タイム。他のクラブの友人との再会も楽しみの一つです。会

場の一角には「血管年齢測定コーナー」が設けられましたが、常時長い列が出来ていました。

午後、全員でラジオ体操をした後、地区対抗「輪投げ」から競技再開。各チームとも益々元気はつらつといった感じで、上位を目指しての接戦が続きました。地区対抗「紅白玉入れ(混合)」を終えた結果で、豊春地区の総合優勝が決定しました。豊春地区の皆さんおめでとう。

競技終了後、全員で春日部音頭を踊って閉会式に臨みました。

春日部市 篠永 勝昌



元気なオーラを発する

130名の仲間たち

大宮区堀の内町二丁目には、二つの老人クラブがあります。

名称は、堀二東部長寿会と堀二西部長寿会です。会員数150名を越した時点で、巨大化による活動の鈍さ防止で分割しました。まさしく兄弟です。主な活動を紹介しましょう。

●花見の会

三月末に見沼代用



水や大宮第三公園の桜の下で春を満喫します。リヤカーに敷き物、飲み物など積み込み昭和時代にタイムスリップした風情です。桜吹雪の下でお弁当やお酒がとても美味しく人気の行事です。

●餅つき 師走に、自治会に協力して開催します。

「昔取った杵と柄」は健在です。若い人が、蒸しあがった餅米を白に移した途端につき始めるなどハプニング。こねることから教えて自己満足。火の加減の達人など各々が力を発揮。

●新年懇親会

毎年一月中旬に開催します。芸達者が多く、おどり、民謡、民謡、カラオケ、大正琴などの出し物が一杯。大きな声での語らい、笑いで一年の健康を誓い合っています。

●社会奉仕活動

地域に稲荷神社があります。規模は小さな社ですが、地域で守っています。年二回の草取りは、まさに野良仕事。とても懐かしい姿の出で立ちで、



汗を流します。

●サークル活動

カラオケ（第2・4木曜）ワナゲ（第1・3木曜）に実施。カラオケは、共通課題としての新曲を練習し、定期的に外部（カラオケスナックなど）で度胸をつけています。

ワナゲも外部に出かけるよう努力し、初めて県老連シルバースポーツ大会に挑戦します。練習でパーフェクトが出せるのに、外にでると結果は2桁どまり。内弁慶の脱却が目標。

75歳以上が190名住んでいます。65歳以上を含めると400名はいます。多世代と一緒に楽しむ

ことも大切ですが、世代別の楽しみがあつてこそ、老人クラブの求心力となります。核となる行事と新しい行事をドンドン取り入れて、楽しい地域にしていきたい。

さいたま市 渡辺 充



あんしん少額短期保険の**葬儀保険**は

満84歳まで
新規で加入でき、

100 医師の診査は不要です!
歳までご継続
いただけます。

持病があっても、お薬を飲んでいても…
現在入院中または入院の予定がなく
簡易告知に該当がなければ**申込**できます。

※持病の内容によってお引受出来ない場合があります。

みんなのキズナ 保険金固定型葬儀保険

月々、手頃な保険料の
あんしん プラン

100万円プランの場合の保険料

男性75歳 月々— **4,800**円

女性75歳 月々— **2,430**円

保障プラン

30万円 50万円 100万円 150万円 200万円 250万円 300万円

※保険料は更新年齢ごとに増しますが保険金は変わりません。

この広告は商品の概略を説明しています。詳細につきましては「パンフレット」「ご契約のしおり」重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報・約款)を必ずご覧ください。※掲載の商品の保障内容などは2018年10月現在のものです。

資料請求は
お電話で、
今すぐ!

通話料
無料

0120-685-336

受付時間:平日9:00~17:00 土・日・祝祭日及び 年末年始を除きます



あんしんは家族の絆から 関東財務局長(少額短期保険)第52号

あんしん少額短期保険株式会社

〒330-0855 埼玉県さいたま市大宮区上小町535番地

あんしん少額

www.ansin-ssi.com



信州の旅

◆ 1泊2食 税込料金

11,800 円

◆ 2泊5食 16,800 円

※毎夕お酒1本付

15名様以上でバス代無料

湯楽ゆうざんは、バス会社を併設
お得なグループ旅行を提案します!

■ ご提案できる観光地

- ・ 信州の鎌倉、別所の安楽寺と北向観音
- ・ 旧北国街道、海野宿 など

【埼玉県国民健康保険指定ホテル】

信州 戸倉上山田温泉 湯楽

費用とコース書送ります まずはお電話を

TEL 026-275-2333



【千本桜が真田氏の城跡を埋めつくす】

○ 上田城千本桜まつり

期間: おおよそ 4月上旬~4月中旬

ゆうざん

長野県千曲市上山田温泉 2-32-11

全国防犯フォーラム2018での発表を終えて

関東地区代表さしまスローライフの「子ども見守り活動」



登校時の見守り活動を終え、公園に集まったさしまスローライフメンバー

岡県)のそれぞれの警察本部から推薦された自主防犯活動団体が、各県で行っている自主防犯活動の発表を行いました。

埼玉県からは、さしまスローライフの「子どもの見守り活動」が代表として発表し、そこで全国防犯フォーラムの関東地区代表に選出されました。

全国防犯フォーラム当日、午後1時に開会すると、始めに警察庁生活安全局長から、「全国で活動する自主防犯ボランティア約260万人の代表となった6団体の、苦労や工夫した点など参考となる話を、今後の活動に生かしてもらいたい。」と参加者に向けた挨拶があり、その後それぞれの団体の発表が行われました。

さしまスローライフの鯨井寛正会長と正信和則幹事の両名が壇上



鯨井会長(右側)・正信幹事(左側)

に立ち、川口市立差間小学校の登下校時の見守り活動について発表を行いました。

鯨井会長は、我々は、「児童が犯罪に巻き込まれない、手を染めない」をスローガンに、さしまスローライフの有志が集まって、登校する児童を自分たちの孫のような思いで安全に見守ると、活動について報告しました。

また、さしまスローライフと差間小学校の特別な繋がりを生み出す活動として、子ども達と給食を一緒に食べる取り組みや、クラブ活動の指導ボランティア等の事例を伝えたところ、会場内からは「小学校がそこまで受け入れることは珍しい。」との意見が出され、活動に参加しているさしまスローライフメンバーの人柄や子どもの安全を思う気持ちが、学校との深い信頼関係に繋がりが、学校もさしまスローライフの活動を必要として、お互いの連携が成り立っていることを伝えました。

さしまスローライフの見守り活動によって、県内至るところ発生している児童に対する不審者の出没や、声掛け事案が9月末現在で差間地区では0件、児童にかかわる交通事故も同様に0件と、活動の成果が示されました。

この発表について、会場に招かれた有識者

である立正大学文学部社会学科の小宮信夫教授から、「老人クラブのメンバーが、ただ見守り

活動をするのではなく、学校行事にも積極的に参加し、学校側も積極的に受け入れている状況は、全国でも珍しい連携の様子で、子どもの安全について、格段の成果があると感じていいる。この様な活動が今後全国に広がってもらいたいと願う。全国レベルでも他の見本となる活動である。」との総評を頂きました。

最後に鯨井会長から、「子供達の源であり、我々自身の生活を明るく実りあるものにしていく必要があります。こうした活動によって、犯罪のない明るいまちづくりを目指して、今後も活動をしていきます。」と綴られ、全国防犯フォーラムでの発表を無事終えました。

事務局 落合 一弘



全国防犯ボランティアフォーラム発表団体(右から3番目鯨井会長)

元気に
活躍する
会員さん
紹介

宇野芳雄さん

(深谷市川本地区畠山上郷福寿会)

昭和4年1月29日
生まれというから、
間もなく90歳。

かつて、埼玉の知事をつとめた畑和氏が、最も武勇のあった武士とあげた畠山重忠の館があった、深谷市畠山にお住まいだ。

その昔、友人を訪ねた重忠の帰宅の途中、雷雨にあい水かさが増した荒川を渡れないでいると、一匹の鶯ここを渡れと言わんばかりに鳴くので、ついて行くと川を渡れたという、「鶯の瀬」など史跡が多く、それらを訪ねるのがお好きだ。

毎日決まって午前6時に起き、午後8時にお寝みになる。

好物の食べ物海鮮井・果物など。嫌いなものはないのが健康の基。

一家は子供2人、孫が5人、曾

孫が7人とにぎやかだ。

テレビの朝ドラは欠かさない。昭和41年から50年以上続く、毎週日曜日の「笑点」も必ず視る。とにかく、楽しいことに出会うのが健康の秘訣と見た。

お住まいは小高い丘が見え、一面田や畑の広がる農村で、家事では野菜づくりが専ら。ときには本気になり、ときには談笑しながら球を追う仲間とのグラウンド・ゴルフも健康維持に役立つ。

人生百年時代、健康寿命を保ち続けるには、仲間との付き合い、自分自身の気持ちの持ち方、そして体が動くうちは働く取り組みが必要。

また、「そのような仲間たちとの地域連帯感の醸成が欠かせない」との最後の言葉がなぜか私の耳に強く残った。

深谷市 小林 英

降田富士枝さん

(北本市本町ふるさと会)



いつの日も明るく

優しい心の持ち主

おだやかな心の持ち主で、会の裏方を一手に引受け、共に心から感謝の念を感

じております。

そして、また会場準備なども一生懸命に手を貸してくれまして、はたまた会終了後には、両手に花ならぬゴミをいっぱい処理してくださいませことを、常に感謝にたえない気持ちでいっぱいです。

そうした中お花が大好きなようで、ご自宅の前の空き地には様々なお花を咲かせ、道行く人々の心を楽しませており、誰もがその心地良さに目を見張るものがあります。

わたくしも時には通りすがりに、ふと足を止め、その美しい花に心がとりにこになってしまふことがあります。

これからも、そうした優しい心持ちを忘れずに、地域の繁栄のために持ち続けて、町の美化を推進してゆけることを、心にとめたいと考えるひとときでもあります。

北本市 佐田 一郎

「彩愛クラブ埼玉」は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

編集
後記

本年5月31日、長きにわたりご指導頂きました高橋義一会長に引きつづき、この度、新藤享弘氏が県老連会長に就任することになりました。

前号就任挨拶の中で、全国三大運動である健康・友愛・奉仕に、ますます力を添えるとお話。会員はもとより、すべての高齢者が、待ち望んでいるもので、心に留めた一言でした。

それにしても、昨今の気象状況は、何とも、ここ以前と比較しても変化の激しい連日でございます。気象状況はもとより、個々におきましても、日頃からより一層の注意を払って、事故に心くばりをするしながら、生活してまいりたいと思えます。

佐田 一郎

